

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人潤和会

令和2年度

社会福祉法人潤和会 事業報告書 目次

1. 令和2年度概要	1
2. 法人事業概要	2
3. 理事会状況	3
4. 評議員会状況	4
5. 職員状況	5
6. 運営組織図	6
7. 職員会議等	7
8. 運営委員会	8
9. 施設全体行事等	11
10. 職員研修等	12
11. 特別養護老人ホームなごみ事業	14
12. ショートステイなごみ事業	18
13. デイサービスセンターなごみ事業	22
14. ケアハウスひだまり事業	26
15. その他	31

1. 令和2年度概要

法人運営においては、年度末に理事長の急逝にともなう理事の補充選任を行い、理事定数を満たした後、直ちに新理事長および業務執行理事の選定を行い新体制へと移行した。平成14年4月の法人設立以来、大きな転換期となる年度となった。

各事業所運営においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対して感染防止対策に積極的に取り組んだ。

職員に対しては、日々の体調管理、マスク着用、手洗い等の基本的な感染防止対策の徹底を求め、施設内においては換気や消毒等の徹底、利用者面会は直接面会を制限し、各種の慰問等も自粛し、職員を含む外部から施設内への感染防止を図った。

しかし、こうした感染防止対策は、反面でご利用者、ご家族に多大なご不便をおかけしたことも否めないが、行事食の充実による「食の楽しみ」の提供や面会においてはリモート面会の活用等、可能な限りの対応に努めた。

また、これまで同様に職員の資質向上に重点を置き、外部研修は新型コロナウイルス感染症の影響により開催自体が激減したが、各委員会主体の施設内研修は、感染防止対策を徹底したうえでより充実させ、ご利用者個々に応じた高品質なケアの実現を目指した。

さらに新年度となる令和3年4月施行の介護報酬改定に向け、改定に対して経営面で有効かつスムーズに対応できるよう、情報収集と対策、準備に取り組んだ。

経営面では、新型コロナウイルス感染症の若干の影響にもよる各事業所の稼働率低下にともなう収入減、支出面では人件費において介護職員処遇改善加算による賃金改善の配分要件変更にともなう大幅な人件費増、こうしたことを主な要因とする大変厳しい決算内容となり、今後の挽回が求められる。

法人事業が老人福祉、介護保険という制度内事業であることを踏まえ、制度改正や社会情勢の変化等、その時々々の状況、課題に適切に対処しながら安定した経営を保ち、ご利用者本位のサービス、その実現のための職員が働きやすい職場環境の整備、そして地域福祉への貢献に今後もより一層努めてまいりたい。

2. 法 人 事 業 概 要

- (1) 法 人 名 社会福祉法人潤和会
- (2) 所 在 地 愛媛県西条市周布 326 番地
- (3) 設立認可年月日 平成 14 年 4 月 15 日
- (4) 法人事業

第 1 種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームなごみ	50 名	平成 15 年 4 月 1 日
軽費老人ホーム	ケアハウスひだまり	20 名	平成 15 年 4 月 1 日

第 2 種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
老人短期入所事業	ショートステイなごみ	10 名	平成 15 年 4 月 1 日
老人デイサービス事業	デイサービスセンターなごみ	30 名	平成 15 年 4 月 1 日

公 益 事 業

な し

その他事業

な し

3. 理事会状況

(1) 役員の構成（令和3年3月31日現在）

理事 定数 6名（現員5名） ※翌4/1付補充選任により現員6名となる
 監事 定数 2名（現員2名）

(2) 理事会開催状況

開催年月日	決議事項		出席者数/定数	
			理事	監事
令和2年6月2日	議案第1号	令和元年度事業報告書の承認について	書面決議 全員同意	書面決議 全員異議なし
	議案第2号	令和元年度決算報告書の承認について		
	議案第3号	評議員会（定時評議員会）の招集について		
令和3年3月23日	議案第4号	令和2年度資金収支第1次補正予算の認定について	書面決議 全員同意	書面決議 全員異議なし
	議案第5号	令和3年度事業計画の承認について		
	議案第6号	令和3年度資金収支当初予算の承認について		
	議案第7号	評議員会の招集について		
令和3年3月31日	議案第8号	役員（理事）の補充選任候補者について	書面決議 全員同意	書面決議 全員異議なし
	議案第9号	評議員会の招集について		
令和3年4月1日	議案第10号	理事長及び業務執行理事の選定について	書面決議 全員同意	書面決議 全員異議なし

4. 評議員会状況

(1) 評議員の構成（令和3年3月31日現在）

評議員 定数 7名（現員7名）

(2) 評議員会開催状況

開催年月日	決議事項等		出席者数/定数
令和2年6月3日	議案第1号	令和元年度決算報告書の承認について	7/7
	報告第1号	令和元年度事業報告について	
令和3年3月31日	議案第2号	令和2年度資金収支第1次補正予算の承認について	書面決議 全員同意
	議案第3号	令和3年度事業計画の承認について	
	議案第4号	令和3年度資金収支当初予算の承認について	
令和3年4月1日	議案第5号	役員（理事）の補充選任について	書面決議 全員同意

5. 職 員 状 況

種 別	令和3年3月31日現在配置数				令和2年度中 退職者数	令和2年度中 入職者数
	特 養	短期入所	デイサービス	ケアハウス		
施設長	1					
事務長	1					
事務職員	2			(1)		
生活相談員	1〔1〕	1〔1〕	1	1		
介護支援専門員	1					
機能訓練指導員	〔1〕		(1)			
看護職員	3	1〔3〕	4		1	2
介護職員	28	〔28〕	6【1】	3		1
管理栄養士	1					
調理員	6【1】			2		
嘱託医	【1】					
介護助手	【2】				【1】	【2】
宿直員	〈6〉【1】					
合 計	69				2	5

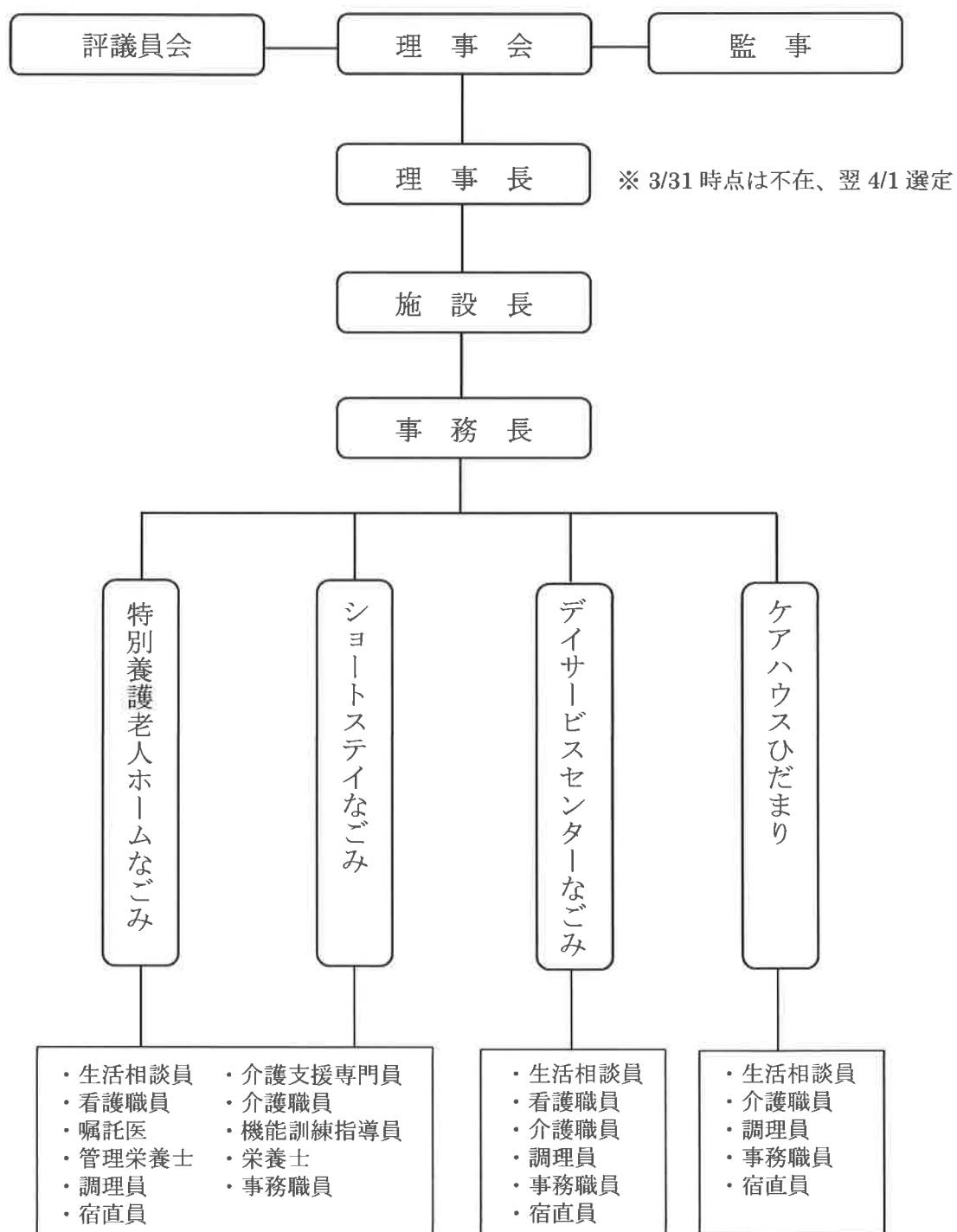
（ ）書きは同部門の他職種が兼務

〔 〕書きは他部門の同職種が兼務

〈 〉書きは他部門の他職種が兼務

【 】書きは非常勤職員

6. 運営組織図 (令和3年3月31日現在)



7. 職員会議等

(1) 担当者会

- 開催日：4月度 令和2年4月15日(水)
5月度 令和2年5月20日(水) ※ 書面配布による開催
6月度 令和2年6月17日(水)
7月度 令和2年7月15日(水)
8月度 令和2年9月16日(水)
9月度 令和2年9月18日(水)
10月度 令和2年10月21日(水)
11月度 令和2年11月18日(水)
12月度 令和2年12月16日(水)
1月度 令和3年1月20日(水)
2月度 令和3年2月17日(水)
3月度 令和3年3月17日(水)
- 出席者：施設長、事務長、各事業所相談員、特養介護支援専門員、
看護リーダー、管理栄養士
- 協議事項：各事業所状況報告及び確認、各事業所運営に係る諸課題

(2) 防災対策会議

- 開催日：令和2年6月24日(水)
令和2年7月22日(水)
令和2年10月28日(水)
令和3年1月27日(水)
令和3年3月24日(水)
- 座長：渡部妙子
- 出席者：施設長、事務長、各事業所相談員、特養介護支援専門員、
看護リーダー、管理栄養士、事務職員
- 協議事項：災害対策について（施設内研修 年1回）
火災、災害訓練の実施（年3回程度）
事業継続計画（BCP）の策定と見直し〔災害・感染症〕

8. 運営委員会

(1) 安全対策委員会（兼 身体拘束廃止委員会）

開催日：4月度 令和2年4月22日(水) ※ 書面配布による開催
5月度 令和2年5月27日(水) ※ 書面配布による開催
6月度 令和2年6月24日(水)
7月度 令和2年7月22日(水)
8月度 令和2年8月26日(水)
9月度 令和2年9月23日(水)
10月度 令和2年10月28日(水)
11月度 令和2年11月25日(水)
12月度 令和2年12月23日(水)
1月度 令和3年1月27日(水)
2月度 令和3年2月24日(水)
3月度 令和3年3月24日(水)

委員長：森川恵一

出席者：施設長、担当者会メンバー、特養フロアリーダー、他

活動内容：施設内のリスク対策全般（施設内研修 年2回）
身体拘束廃止についての勉強と対策（施設内研修 年2回）
高齢者虐待防止についての勉強と対策（施設内研修 年1回）
防犯対策についての勉強と対策

(2) 医療関係委員会

開催日：4月度 令和2年4月1日(水)
5月度 令和2年5月13日(水) ※ 書面配布による開催
6月度 令和2年6月3日(水)
7月度 令和2年7月1日(水)
8月度 令和2年8月5日(水)
9月度 令和2年9月2日(水)
10月度 令和2年10月7日(水)
11月度 令和2年11月4日(水)
12月度 令和2年12月2日(水)
1月度 令和3年1月6日(水)
2月度 令和3年2月3日(水)
3月度 令和3年3月3日(水)

委員長：岡本美紀
出席者：施設長、担当者会メンバー、特養フロアリーダー、他
活動内容：医療関係知識等に係る介護職員への指導（施設内研修 年1回）
介護職員の医行為に係る安全対策
看取りケアについての勉強（施設内研修 年1回）
褥瘡防止への取り組み（施設内研修 年1回）

(3) 感染症対策委員会

開催日：令和2年4月1日(水)
令和2年5月13日(水) ※ 書面配布による開催
令和2年6月3日(水)
令和2年7月1日(水)
令和2年9月2日(水)
令和2年11月4日(水)
令和2年12月2日(水)
令和3年1月6日(水)
令和3年2月3日(水)
令和3年3月3日(水)

委員長：岡本美紀
出席者：施設長、担当者会メンバー、看護職員、特養フロアリーダー、他
活動内容：感染症（食中毒含む）対策全般（施設内研修 年2回）

(4) 行事・レク委員会

開催日：4月度 令和2年4月2日(木)
5月度 令和2年5月7日(木) ※ 書面配布による開催
6月度 令和2年6月4日(木)
7月度 令和2年7月2日(木)
8月度 令和2年8月6日(木)
9月度 令和2年9月3日(木)
10月度 令和2年10月1日(木)
11月度 令和2年11月5日(木)
12月度 令和2年12月3日(木)
1月度 令和3年1月7日(木)
2月度 令和3年2月4日(木)
3月度 令和3年3月4日(木)

委員長：西川元基
出席者：各部署から1名以上の選出された者
活動内容：施設内行事、慰問、レク等の企画と実施

(5) 栄養委員会

開催日：4月度 令和2年4月14日(火)
5月度 令和2年5月12日(火) ※ 書面配布による開催
6月度 令和2年6月9日(火)
7月度 令和2年7月14日(火)
8月度 令和2年8月11日(火)
9月度 令和2年9月8日(火)
10月度 令和2年10月13日(火)
11月度 令和2年11月10日(火)
12月度 令和2年12月8日(火)
1月度 令和3年1月12日(火)
2月度 令和3年2月9日(火)
3月度 令和3年3月9日(火)

委員長：今井直子
出席者：施設長、各部署から1名以上の選出された者
活動内容：給食関係についての勉強と改善
栄養ケアマネジメントに基づいての勉強、改善



9. 施設全体行事等

開催日	行事等内容
令和2年 4月 9日 (木)	行事食 (お花見弁当)
5月15日 (金)	行事食 (母の日御膳)
6月20日 (土)	行事食 (父の日御膳)
7月21日 (火)	行事食 (土用の丑うなぎ重)
8/12 (水)・23 (日)	各事業所・各部門対応 夏祭り
8月21日 (金)	行事食 (夏祭りメニュー)
9月17日 (木)	行事食 (敬老の日祝い御膳)
9月17日 (木)	各事業所・各部門対応 敬老会
10月16日 (金)	行事食 (秋祭りメニュー)
11月19日 (木)	行事食 (にぎり寿司御膳)
12/9 (水)・15 (火)・20 (日)	各事業所・各部門対応 クリスマス会
12月15日 (火)	行事食 (クリスマスメニュー)
12月31日 (木)	行事食 (年越しそば)
令和3年 1月 1日 (金)	行事食 (おせち料理)
1月18日 (月)	行事食 (賀寿のお祝い御膳)
1月18日 (月)	各事業所・各部門対応 賀寿の祝い
2月 2日 (火)	行事食 (節分の日恵方巻)
3月 3日 (水)	行事食 (ひな祭り御膳)
3月 3日 (水)	各事業所・各部門対応 ひな祭り

新型コロナウイルス感染症予防のため全体的な施設行事や慰問会は開催せず、各事業所・部門において規模縮小した行事のみを実施する。

そうした状況から、施設として「ご利用者には日々、食で楽しみを!」との方針により、管理栄養士をはじめとする調理員、また介護職員等の協力により毎月の行事食について例年以上に充実したものとなるよう努めた。

10. 職員研修等

(1) 施設内研修 等

開催日	研 修 内 容	参加者数
令和2年 5月14日 (月)	令和元年度第2回身体拘束廃止に関する研修 (レポート提出形式にて実施)	62 名
6月16日 (火)	第1回感染症対策研修 (食中毒について)	31 名
6月23日 (水)	第1・2回福祉実務能力向上研修	8 名
7月21日 (火)	第3・4回福祉実務能力向上研修	8 名
8月25日 (火)	第5回福祉実務能力向上研修	7 名
8月31日 (月)	第1回リスクマネジメント研修	28 名
8月31日 (月)	高齢者虐待防止及び第1回身体拘束廃止に関する研修	28 名
9月 9日 (水)	総合火災訓練 (昼間想定)	50 名
9月18日 (水)	第1回ノーリフティングケア研修	22 名
9月29日 (火)	第6回福祉実務能力向上研修	8 名
10月 8日 (木)	褥瘡予防に関する研修	26 名
10月20日 (火)	第7回福祉実務能力向上研修	8 名
10月20日 (火)	第2回ノーリフティングケア研修	26 名
10月30日 (金)	排泄ケアに関する施設内研修	26 名
11月 5日 (木)	第3回ノーリフティングケア研修	21 名
11月24日 (火)	第8回福祉実務能力向上研修	7 名
12月 4日 (金)	第4回ノーリフティングケア研修	20 名
12月17日 (木)	シェイクアウト愛媛 ～県民総ぐるみ地震防災訓練～	130 名
12月18日 (金)	第2回感染症対策研修	27 名
12月22日 (火)	第9回福祉実務能力向上研修	8 名
令和3年 1月22日 (金)	第2回リスクマネジメント研修 救命救急・AED 使用方法講習	12 名
1月25日 (月)	看取りに関する研修	28 名
1月26日 (火)	第10回福祉実務能力向上研修	7 名
2月16日 (火)	第11回福祉実務能力向上研修	7 名
3月15日 (月)	総合火災訓練(夜間想定)	50 名
3月23日 (火)	第12回福祉実務能力向上研修	8 名
施設内研修等 総数 26		施設内研修等 延参加者数 663 名

(2) 施設外研修 等

開催日	研 修 等 内 容	主催者	出席者数
令和2年 8月11日(火)	令和2年度ノーリフティングケア普及啓発モデル事業説明会	愛媛県社会福祉協議会	1名
10月 5日(月)	ノーリフティングケア導入研修会	愛媛県社会福祉協議会	1名
12月 9日(水)	令和2年度介護職レベルアップ講習会	愛媛県社会福祉協議会	2名
12月18日(金)	外国人介護人材のための交流セミナー	愛媛県外国人介護人材支援センター	1名
令和3年 1月13日(水)	令和2年度介護職レベルアップ講習会	愛媛県社会福祉協議会	2名
2月15日(月)	令和2年度ノーリフティングケア普及啓発セミナー	愛媛県社会福祉協議会	3名
2月18日(木)	新型コロナウイルス感染症に関する研修会	愛媛県東予地方局地域福祉課	1名
2月22日(月)	社会福祉法人監事監査研修会 (WEB 開催)	愛媛県社会福祉法人経営者協議会	1名
3月 3日(水)	令和2年度介護助手事業成果報告会	愛媛県社会福祉協議会	1名
参加した施設外研修等 総数 9 施設外研修等 延参加者数 13 名			

職員研修等について、施設内研修等は新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで、ほぼ例年どおり充実した内容の施設内研修会等を開催し、職員のスキルアップを図ることができた。

しかし、施設外研修については、新型コロナウイルス感染症のため各種研修会の開催数が激減し、前年度の参加した施設外研修等の総数 66、延参加者数 102 名をおおきく下回る内容となった。

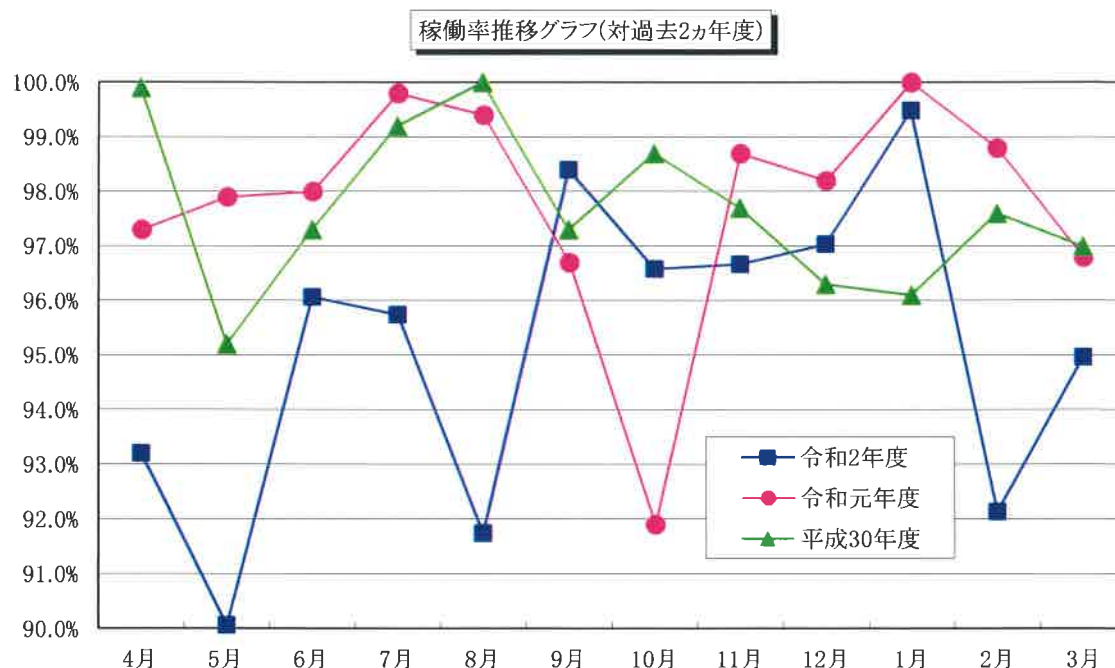
1 1. 特別養護老人ホームなごみ事業

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	1,398	1,396	1,441	1,484	1,422	1,476
稼働率	93.2%	90.1%	96.1%	95.7%	91.7%	98.4%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	1,497	1,450	1,504	1,542	1,336	1,472
稼働率	96.6%	96.7%	97.0%	99.5%	92.1%	95.0%

(注1) 実績延人数には長期入院時等、介護保険請求対象外となるものは含まれません。

令和2年度計	
実績延人数	17,418
年間稼働率	95.2%

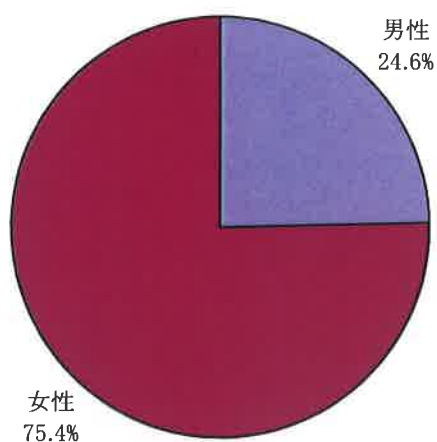


令和2年度の平均入所稼働率は95.2%であり、これは前年度の98.1%に対して-2.9%である。年度初めに過去に例のないような多数の退所者が発生し、新規入所者の手続きも新型コロナウイルス感染症の影響でスムーズに進まない状況から例年を下回る稼働率となった。

高稼働率の維持が高収入の必須要件であるが、入所者の重度化により、入退所の増加や利用料を算定できない6日以上長期入院者が多く発生することで満室状態を維持するということは容易でない。

(2) 入所者男女別割合と要介護度状況

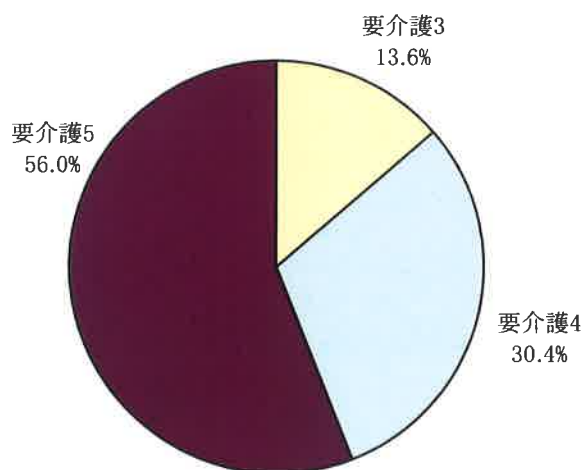
令和2年度入所者男女別割合



令和2年度中の入所者男女別割合は、女性が75.4%、男性が24.6%であった。

なお、前年度は女性76.7%、男性が23.3%であったので、若干男性入所者の割合が増加した。

令和2年度入所者要介護度別割合



令和2年度中の入所者要介護度別割合は、要介護度5が56.0%と最も多く、次いで多い要介護度4と合わせると86.4%になる。

特養は、介護度3以上の入所が原則であり、入所指針により重度者が優先入所となっていることに起因する。

(3) 入所者平均要介護度

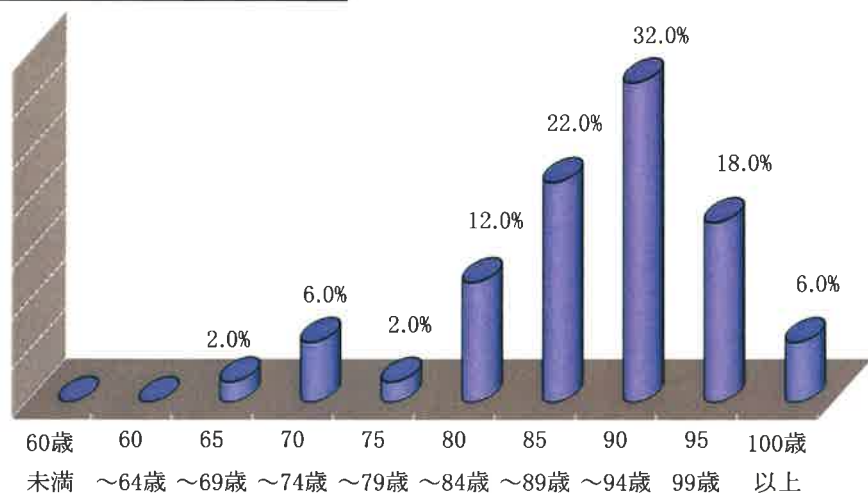
(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4

各月末時点での入所者平均要介護度は、3月以外すべて4.4であり、年間の平均要介護度は4.4であった。

(4) 入所者年齢状況 (令和3年3月31日時点)

令和2年度末時点の入所者年齢層別割合



令和2年度末時点の 最高・最少・平均年齢	最高 年齢	104歳	最少 年齢	69歳	平均 年齢	89.2歳
-------------------------	----------	------	----------	-----	----------	-------

令和2年度末時点の入所者の年齢状況は、90～94歳が32.0%と最も多くなっている。また、最高年齢者104歳、最少年齢者69歳、平均年齢は89.2歳であった。100歳以上の入所者は3名であった。

(5) 入所者の入所期間状況 (令和3年3月31日時点)

(単位：人)

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合 計
男 性	5	3	2	2			12
女 性	16	9	7	4	1	1	38
合 計	21	12	9	6	1	1	50
割 合	42.0%	24.0%	18.0%	12.0%	2.0%	2.0%	100.0%

平均入所期間	男性	28.0ヶ月	女性	34.2ヶ月	全体	32.7ヶ月
--------	----	--------	----	--------	----	--------

令和2年度末時点の入所者の入所期間状況は、入所期間1年未満が21名と最も多く全体の42.0%を占めており、平均入所期間は32.7ヶ月（約3年弱）となっている。入所者の重度化により入所されてから退所されるまでの期間は、短くなる傾向にある。

(6) 入退所状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入 所	5	4	2	2	2	3
退 所	5	4	1	3	3	
月末在所者	48	48	49	48	47	50
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 所	1		1		1	2
退 所	1	1			2	1
月末在所者	50	49	50	50	49	50

(注 1)入退所数は各月中の入退所者数です。

令和 2 年度 計	
入所総数	23
退所総数	21

令和 2 年度における入退所状況は、退所者数 21 名、入所者数 23 名であった。なお、前年度の退所者 11 名、入所者 10 名に対して倍以上となっており、多数の入退所が発生した年度となった。

21 名の退所理由は、20 名がお亡くなりになられて、1 名は医療機関へ移れることでの退所であったが、その方も医療機関に移られて直ぐにお亡くなりになられた。

入所者 23 名の入所時の要介護度は、要介護度 4 が 8 名、要介護度 5 が 15 名であった。

(7) 入所待機者（入所申込者）状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
各月末時 待機者数	264	249	236	239	225	224
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	229	225	209	205	195	190

令和 2 年度の各月末時点での待機者数をみると、徐々に減少している傾向がみられ、年度末時点で 200 名を切り 190 名の待機者となっている。

待機者数の減少は、特養入所が原則、要介護度 3 以上となり新規申込者が以前と比較して減少傾向にあること、さらにサービス付高齢者住宅、有料老人ホーム等、施設系の選択肢が増えていることが要因と考えられる。

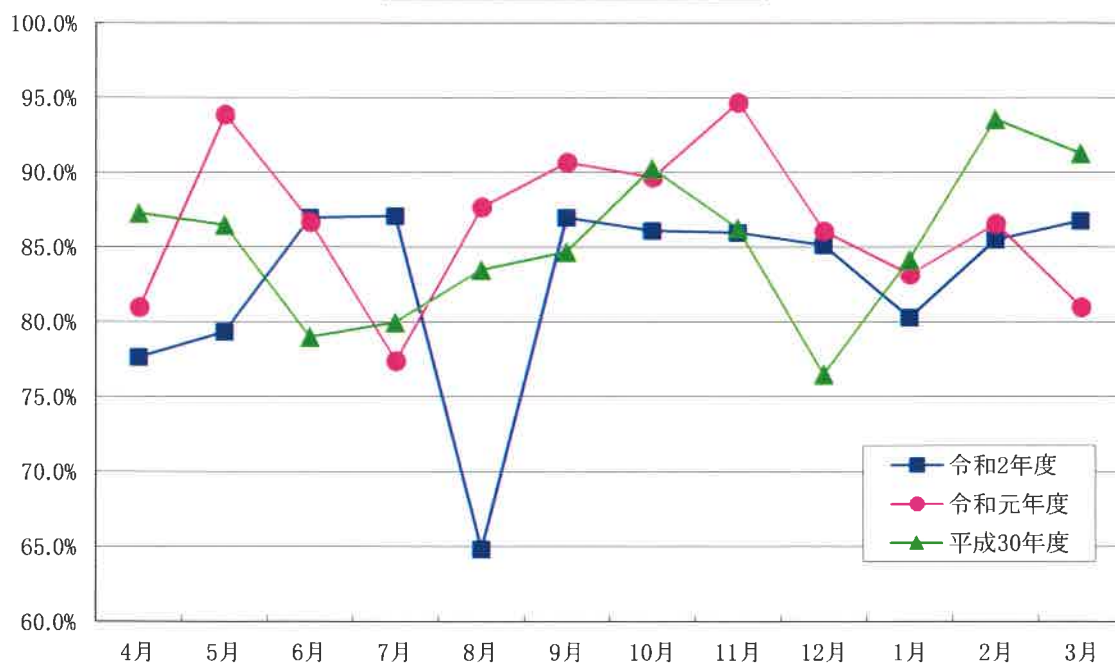
12. ショートステイなごみ事業 (短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護)

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	233	246	261	270	201	261
稼働率	77.7%	79.4%	87.0%	87.1%	64.8%	87.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	267	258	264	249	248	269
稼働率	86.1%	86.0%	85.2%	80.3%	85.5%	86.8%

令和2年度 計	
実績延人数	3,027
年間稼働率	82.7%

稼働率推移グラフ (対過去2カ年度)

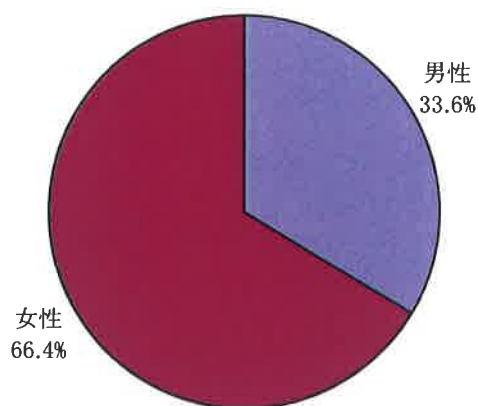


令和2年度の平均稼働率は82.7%、前年度の86.5%に対して-3.8%であった。ほぼ各月、例年を下回る稼働率推移となり、特に8月はおおきく落としている。

ショートステイは、利用者の固定化傾向にある事業ではあるもの、新規利用者の確保と可能な限り空室の隙間を埋める等、安定した高稼働域での推移が保たれるような対策が求められる。

(2) 利用者男女別割合と要介護度状況

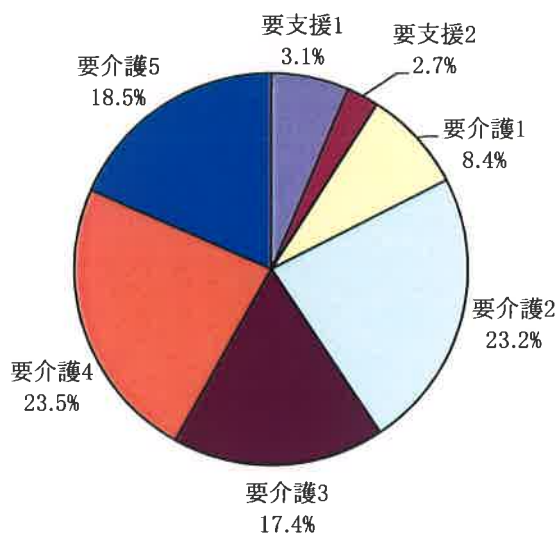
令和2年度利用者男女別割合



令和2年度中の利用者男女別割合は、女性が66.4%、男性が33.6%であった。

なお、前年度割合は、女性67.8%、男性32.2%であり、前年度に比べて男性の割合が若干高くなっている。

令和2年度利用者要介護度別割合



令和2年度中の利用者要介護度別割合は、要支援者は全体の5.8%であり前年度の3.4%から増加傾向にある。

要介護度者では、要介護度4が23.5%と最も多いが、要介護度1を除き要介護度2～5が、ほぼ同程度となっている。

(3) 利用者平均要介護度

(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2	3.3	3.0	3.1	2.9	2.7	2.7	2.6	3.0

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出しています。

令和2年度の各月末時点での利用者平均要介護度は、2.6～3.3で年間推移しており、年間平均要介護度は3.0であった。これは前年度よりも若干高い傾向にある。

(4) 利用者年齢状況 (利用者平均年齢)

(単位：歳)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次平均年齢	88.4	88.1	87.8	87.8	87.1	87.5	88.1	88.5	87.5	86.8	88.0	87.3	87.8

令和2年度ショートステイ利用者の年度とおしての平均年齢は、87.8歳であった。

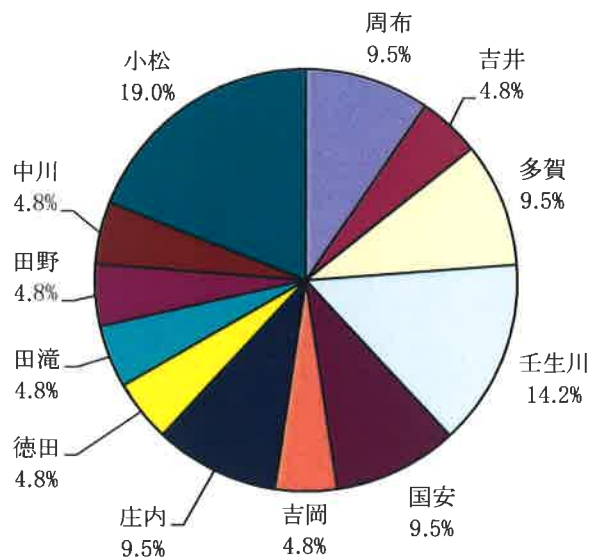
(5) 地区別利用者状況 (令和3年3月利用者)

(単位：人)

内 訳	旧東予市									旧小松町		
	周布	吉井	多賀	壬生川	国安	吉岡	三芳	楠河	庄内	小松	石根	
	2	1	2	3	2	1			2	4		
旧市町計	13									4		

内 訳	旧丹原町					旧西条市					合計
	丹原	徳田	田滝	田野	中川	氷見	禎瑞	橘			
		1	1	1	1						21
旧市町計	4					0					

地区別利用者割合



令和元年度末となる令和3年3月中の利用者について、居住地を小学校区別にみると、当事業所の近隣地区をはじめとする旧東予、旧周桑郡の広域から利用者があることがわかる。

(6) 利用頻度状況（令和3年3月利用者）

1 利用者が1ヶ月中にショートステイを利用する回数

	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回	合 計
人 数	7	10	2	1	1	21
割 合	33.3%	47.6%	9.5%	4.8%	4.8%	100.0%

1回のショートステイ利用で滞在する利用日数

	3日間以内	4～7日間	8～14日間	15～20日間	21日以上	合 計
人 数	10	21	7	4		42
割 合	23.8%	50.0%	16.7%	9.5%		100.0%

1利用あたりの平均滞在日数	6.9 日
---------------	-------

令和2年度末となる令和3年3月中の利用者について、その利用頻度をみると1利用者が1ヶ月にショートステイを利用する回数は、月2回の利用が最も多く全体の47.6%であった。

また、1利用あたりの滞在日数では、4～7日間の利用が全体の50.0%と最も多く、1利用あたりの平均滞在日数は6.9日であった。



13. デイサービスセンターなごみ事業 (通所介護・介護予防総合支援事業)

(1) 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数(人)	524	500	536	511	497	495
稼働率	69.9%	72.5%	68.7%	68.1%	66.3%	68.8%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数(人)	564	465	493	418	455	537
稼働率	69.6%	67.4%	63.2%	60.6%	68.9%	68.8%

令和2年度 計	
実績延人数	5,995
年間稼働率	67.7%

稼働率推移グラフ (対過去2ヵ年度)

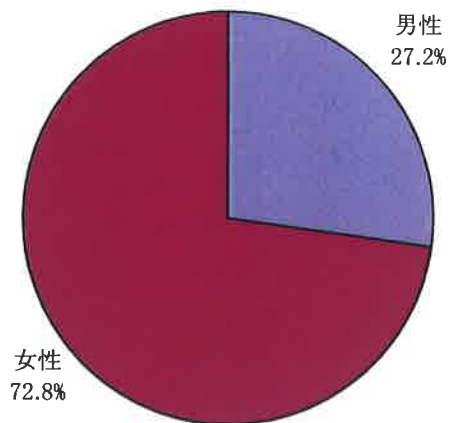


令和2年度の平均稼働率は67.7%、前年度の72.7%に対して－5.0%であった。ほぼ各月、例年を下回る稼働率で推移している。

こうした結果の要因は、施設入所等による利用者の減少に対して新規利用者の獲得が追いついていないこと、通所介護事業はもはや利用者が事業所を選択して利用する状況であり、よって通所介護よりも利用者ニーズのある通所ケアへ利用者がながれていること等があげられる。

(2) 利用者男女別割合と要介護度状況

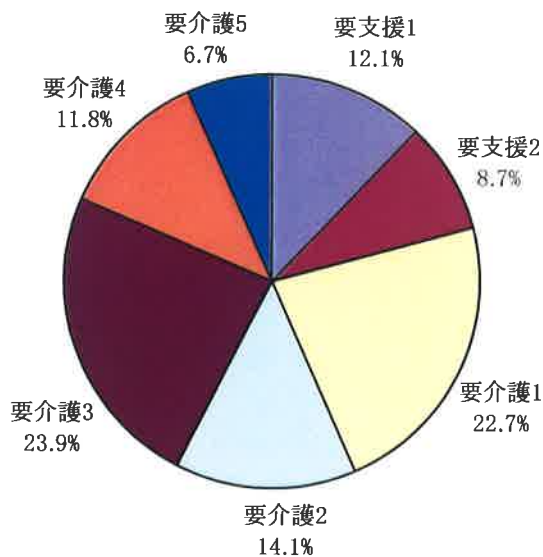
令和2年度利用者男女別割合



令和2年度中の利用者男女別割合は、女性が72.8%、男性が27.2%であった。

なお、前年度割合は、女性74.4%、男性25.6%であったので、男性利用者の割合が若干高くなっている。

令和2年度利用者要介護度別割合



令和2年度中の利用者要介護度別割合は、最も多いのが要介護度3で全体の23.9%であり、軽中度の利用者が主となっている。

要支援者は、総合支援事業利用者となるが、全体の20.8%を占めている。

(3) 利用者平均要介護度

(単位：要介護度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均 要介護度	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.1	1.9	2.0	2.0	2.1

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出しています。

令和2年度の各月末時点での利用者の平均要介護度は、各月2.0前後で推移し、年間平均要介護度は2.1であった。前年度は1.4～1.7で推移し平均が1.6であったので、利用者の要介護度は上昇傾向となっている。

(4) 利用者年齢状況 (利用者平均年齢)

(単位：歳)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次平均年齢	88.9	88.8	88.3	88.0	87.9	87.9	87.9	88.3	88.5	88.1	88.0	87.6	88.2

令和2年度デイサービス利用者の年度とおしての平均年齢は、88.2歳であり軽中度者割合が高いにもかかわらず高齢な利用者が多い傾向にある。

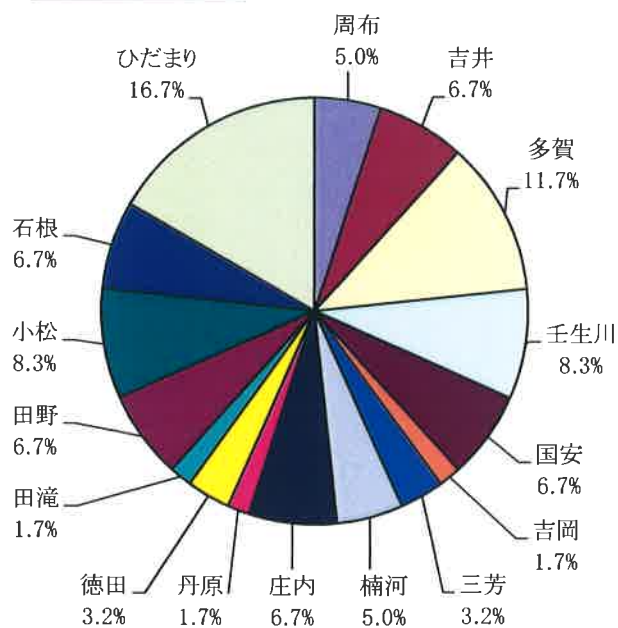
(5) 地区別利用者状況 (令和3年3月利用者)

(単位：人)

内 訳	旧東予市									旧小松町		
	周布	吉井	多賀	壬生川	国安	吉岡	三芳	楠河	庄内	小松	石根	
	3	4	7	5	4	1	2	3	4	5	4	
旧市町計	33									9		

内 訳	旧丹原町					旧西条市				ひだまり	合計
	丹原	徳田	田滝	田野	中川	氷見	禎瑞				
	1	2	1	4							
旧市町計	8					0				10	60

地区別利用者割合



令和2年度末となる令和3年3月中の利用者について居住地を小学校区別にみると、当事業所近隣地区が多い傾向にあるものの旧東予、旧周桑郡の広域から利用者がいる状況となっている。

また、併設施設であるケアハウスひだまりは、全入居者20名中半数の10名が利用されている。

(6) 利用頻度状況（令和3年3月利用者）

1 利用者が1週間に利用する基本回数パターン

	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	合 計
人 数	15	22	11	8	4	60
割 合	25.0%	36.7%	18.3%	13.3%	6.7%	100.0%

令和2年度末となる令和3年3月中の利用者における利用頻度について、1利用者が1週間にデイサービスを利用する基本回数は、週2回利用が最も多く全体の36.7%となっている。

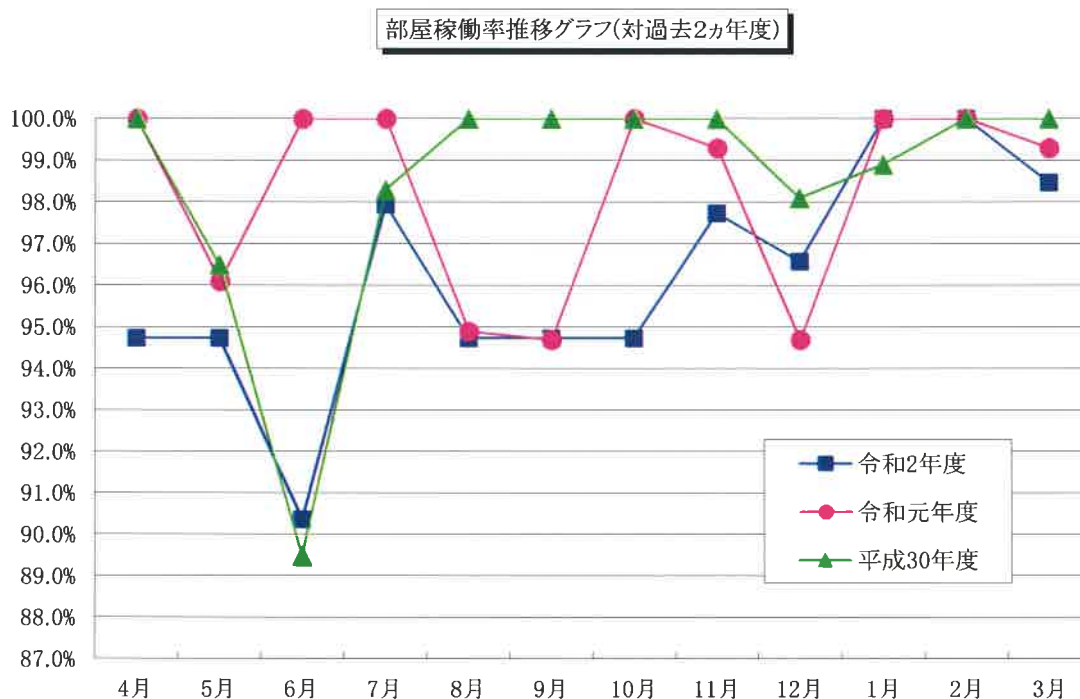
なお、この数値はケアプランに基づく計画段階のものであり、いかにこの計画どおりにお休みされることなく利用いただくかが高稼働率の維持に大きく影響する。。



14. ケアハウスひだまり 事業

(1) 居室稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間稼働率
月間稼働率	94.7%	94.7%	90.4%	97.9%	94.7%	94.7%	94.7%	97.7%	96.6%	100%	100%	98.5%	96.2%



令和2年度の年間居室稼働率は96.2%、前年度98.3%に対して－2.1%であり、1ヵ月とおして満室とできた月は2ヵ月のみであった。

ケアハウスの場合、申込者はご自身の将来のためにと入居申し込みをされているケースも多く、いざ自分が入居できるとなられても、まだ慣れた自宅で生活されたいとのことで簡単に入居いただけないケースも多い。待機者の数も少なく、特養とは異なり空室が出た場合の対応がスムーズに行かない場合もある。

さらに特養と同様に新型コロナウイルス感染症対策のため、入居手続きがスムーズに進まないケースも見受けられる年度であった。

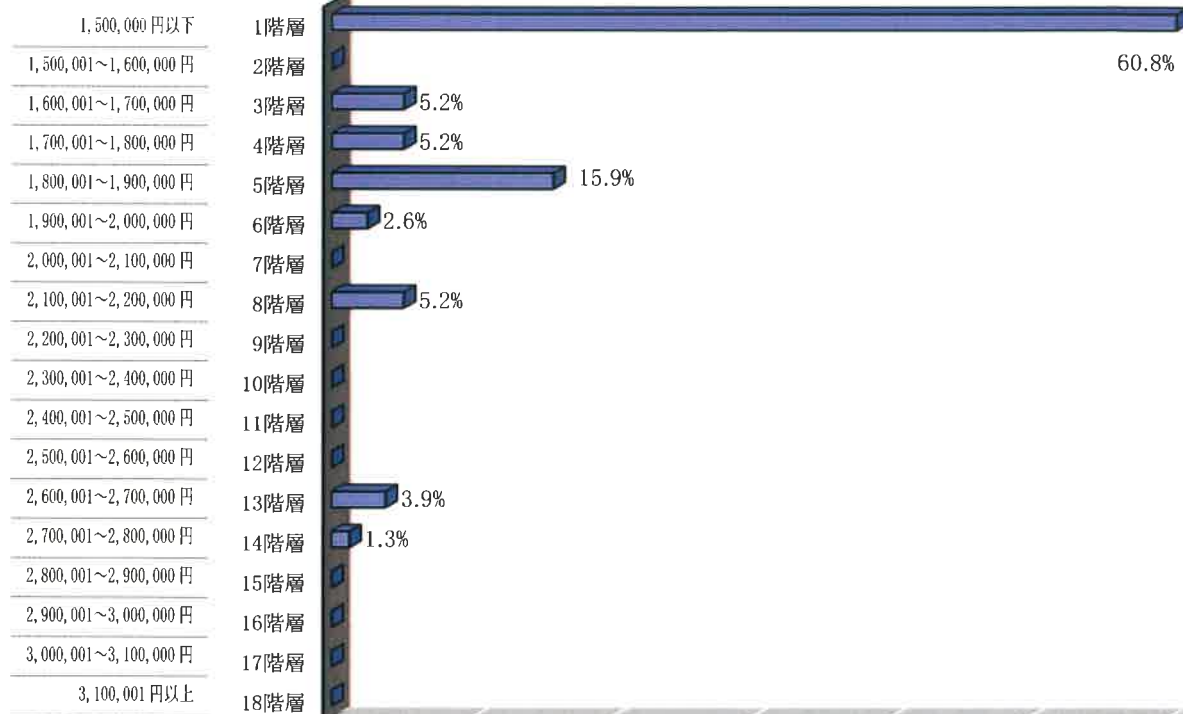
(2) 利用料金自己負担額に関わる入居者収入階層状況

(単位：人)

階層区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1階層	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	141
2階層													
3階層	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
4階層	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
5階層	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	37
6階層	1	1	1							1	1	1	6
7階層													
8階層	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
9階層													
10階層													
11階層													
12階層													
13階層				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
14階層	1	1	1										3
15階層													
16階層													
17階層													
18階層													
合 計	19	19	19	20	19	19	19	19	19	20	20	20	232

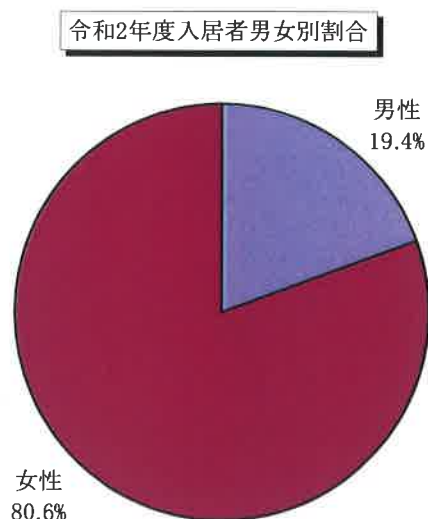
(注1)ケアハウス事務費補助金算定の基礎となる各月1日時点の入居者数です。

(対象年間収入額)



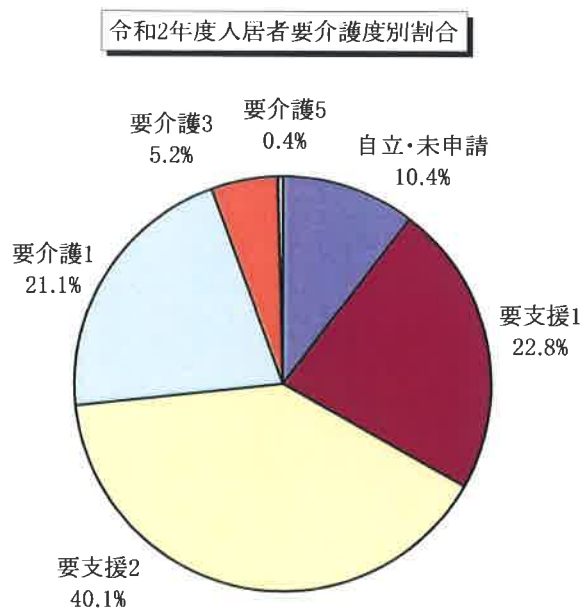
入居者の利用料金自己負担額、また愛媛県からの事務費補助金額は、各入居者の前年中の対象収入額で位置付けられる階層で決定されるが、令和2年度も例年のように階層1の方が全体の60.8%と最も多い状況にある。

(3) 入居者男女別割合と要支援・要介護度状況



令和2年度中の入居者男女別割合は、女性が80.6%、男性が19.4%であった。

なお、前年度割合は、女性80.2%男性19.8%であったので、割合的にさほどの変化はない。



令和2年度中の入居者要支援・要介護度別割合は、最も多いのが要支援2で40.1%である。

入居者のうち73.3%が自立もしくは要支援者となっているが、以前と比較すると入居者の要介護度化が進んでいる傾向にある。

なお、要介護度3の方は二人部屋に入居のご夫婦のお一人でケアハウスにおける老々介護が課題となっている。また、要介護度5の方は他の介護施設へ入居のため退居された。

(4) 要支援者・要介護度認定者における平均要介護度

(単位：要介護度)

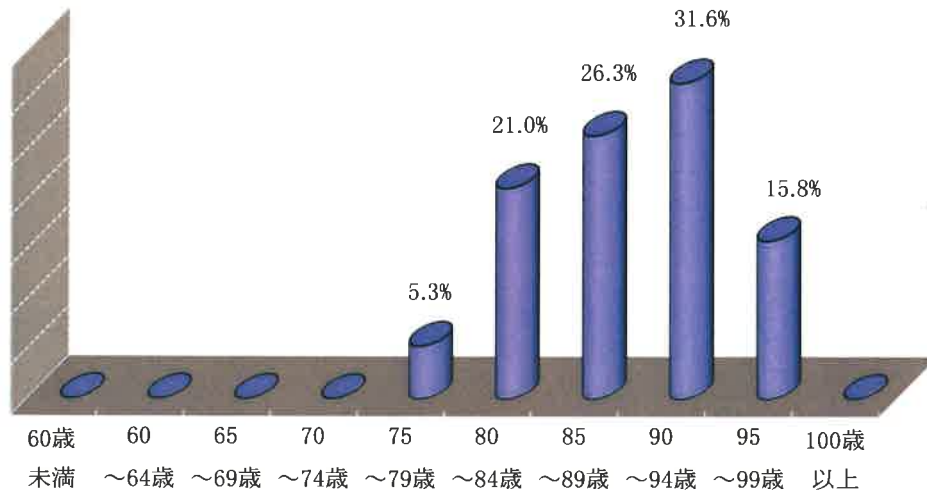
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均要介護度	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7

(注1) 要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として全体の平均介護度を算出しています。

要支援もしくは要介護認定を受けている入居者について、その平均要介護度は、年間平均で0.7であった。

(5) 入居者年齢状況（令和3年3月31日時点）

令和2年度末時点の入居者年齢層別割合



令和2年度末時点の 最高・最少・平均年齢	最高 年齢	96歳	最少 年齢	79歳	平均 年齢	88.4歳
-------------------------	----------	-----	----------	-----	----------	-------

令和2年度末時点の入居者の年齢状況は、90～94歳が31.6%と最も多くなっている。また、最高年齢者は96歳、最少年齢者は79歳、平均年齢は88.4歳であった。

(6) 入居者の介護保険サービス利用状況（令和3年3月入居者）

（単位：人）

利用なし	訪問介護		デイサービス	デイケア	福祉用具貸与	訪問看護	訪問リハビリ	利用者合計
3	16		10	0	11	0	1	38
	身体介護	生活援助						
	2	14						

（注1） 令和2年度末月（令和3年3月）入居者における内容です。

（注2） 1人の入居者が複数の居宅サービスを利用しているケースもあることから合計は定員数（20名）を上回ります。

（注3） 利用者合計数には、利用なしの者を含んでいません。

要支援、要介護認定を受けている方の多くは、介護保険居宅サービスを利用されており、訪問介護の利用が最も多く16名となっている。また福祉用具貸与の利用も多い。

なお、デイサービス利用者10名のすべてが併設のデイサービスセンターなごみを利用されている。

(7) 入退居状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居				2		
退居			1	1		
月末在居者	19	19	18	19	19	19
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居		1		1		
退居		1				1
月末在居者	19	19	19	20	20	19

(注 1)入退居者数は各月中の入退居者数です。

令和2年度 計	
入居総数	4
退居総数	4

令和2年度中の入退居状況は、入居4名、退居4名と例年と比較して多い年度であった。

退居者4名の理由は、身体機能低下によりケアハウスでの生活が困難となり他の介護施設へ入所された方、医療機関へ入院されお亡くなりになられた方であった。

(8) 入居待機者(入居申込者) 状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
各月末時 待機者数	22	22	23	23	23	24
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	23	22	26	27	27	27

令和2年度末での入居申込者数は27名である。入居の相談件数は多いものの、明らかにケアハウスでの生活が介護保険居宅サービスを利用されたとしても困難と見受けられる方には申し込みをお断りさせて頂いているため、大きな待機者の増加はみられない。

申し込み後も定期的に状況把握に努め、申し込み後の要介護度の上昇、他施設への入所等があれば、申込者名簿から削除させていただき対応を行っている。

また待機者には、入居申込みをされていても在宅で元気に暮らしている方も多く、直ぐに入居を望まれている方は少ない。

15. そ の 他

(1) 特別養護老人ホームなごみ家族会

特養なごみ入所者のため、家族相互の連携及び施設への運営協力を目的とする特別養護老人ホームなごみ入所者のご家族で構成される家族会により、令和2年度においても次のような積極的な活動、また施設へのご支援をいただいた。

なごみ家族会 令和2年度総会

- | | |
|------|---|
| 開催日 | 令和2年4月11日(土) |
| 協議事項 | ・ 令和元年度収支決算
・ 令和2年度なごみ家族会活動の取り組みについて
・ 家族会と施設との意見交換 |

なごみ家族会 令和2年度第1回奉仕活動

新型コロナウイルス感染症予防のため中止

なごみ家族会 令和2年度第2回奉仕活動

- | | |
|-----|---------------|
| 開催日 | 令和2年11月14日(土) |
| 内 容 | 施設敷地内の草引き、清掃 |

【令和2年度 家族会からの寄贈品等】

- | | |
|------------|------------------------|
| ◇ 車 椅 子 | 5 台 |
| ◇ 入所者おやつ提供 | 年間 11 回（和菓子、洋菓子、フルーツ等） |
| ◇ 職員へ商品券 | @1,000 円×50 名 |